令和３年度第３回　地域連携推進機構運営会議　議事次第

日　時：令和３年５月２１日（木）　１０：００～１１：３０
場　所：第一会議室、WEB 会議併用

【議題】 ＜審議事項＞	資料番号
１　大学機関別選択評価「地域貢献活動」の受審について	審議１
２　令和３年度 地域協働プロジェクト推進事業審査要領（案）について	審議２
３　その他	
＜報告事項＞	
１　宜野湾市との連携事業について	報告１
２　その他	

※参考資料
・　地域連携推進機構運営会議 委員名簿（令和３年４月１日時点）（参考資料１）

令和３年度第２回 地域連携推進機構運営会議
議事要旨（案）

日　時：令和３年４月２２日（木）　１０：００～１０：４２
場　所：第一会議室、zoom による WEB 会議の併用
出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長）、背戸 博史（地域共創企画室長）、柴田 聡史（地域共創企画室 准教授）、小島 肇（地域共創企画室 准教授）、畑中 寛（地域共創企画室 特命准教授）、満尾 俊一（総合企画戦略部長）、下地 孝之（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者：島袋 亮道（地域共創企画室 特命准教授）
陪席者：瀬名波 出（学長補佐、研究企画室員、工学部教授）、富永 千尋（研究企画室特命教授）、平敷監事
稲福 太一（課長代理）、金城 まなみ（企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）、根間 友紀乃（企画係員）

※審議に先立ち、３月１８日開催の令和２年度第１７回運営会議、令和３年度第１回運営会議（メール会議）の議事要旨案について確認があり、了承された。
※審議に先立ち、新委員の下地地域連携推進課長の紹介があった。

＜審議事項＞
議長から、次の２件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

１．第４期中期目標・中期計画（案）について
背戸室長から、資料（審議１）に基づき、説明があった。
委員から、主に次のような意見があった。
・地域貢献循環型モデルについて、今後は、民間企業との連携協定にスポットをあて、財政的投資や人的資源を呼び込むことが重要となる。
・計画番号１－１において「地域連携推進機構の下で」となっているが、地域連携推進機構が中心となって各部局を含めて取組んでいくことを示す記載にしたほうがよいのではないか。

審議の結果、一部修正とし、大学として中期目標１１を取り上げないこととなった場合には、目標１に盛り込むことが承認された。

２．国立大学法人琉球大学と公益社団法人沖縄県地域振興協会との包括的連携に関する協定書について
下地地域連携推進課長から資料（審議２）に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

＜報告事項＞

１．就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業への申請について
牛窪機構長から、資料（報告１）に基づき、申請内容の報告があった。

２．その他
①アウトオブキッザニアｉｎ沖縄への参加について
金城企画係長から、沖縄セルラー電話株式会社より創業３０周年イベントとして開催されるアウトオブキッザニア in 沖縄へ本学がパビリオンを出展することの提案があり、出展内容を検討中である旨の報告があった。

②株式会社フロッグスとのイベントの協力について
瀬名波教授から、株式会社フロッグスより毎年開催している LEAPDAY を今年は琉大と連携したいという提案を受けており、内容によっては地域連携推進機構を窓口としたい旨の報告があった。

③連携協定の窓口について
瀬名波教授から、他機関との協定締結の際に、研究推進機構が担当する場合と地域連携推進機構が担当する場合とがあるが、今後、協定の窓口について明確にしておいたほうが良いとの提案があった。

大学評価ＩＲマネジメントセンター

大学機関別選択評価「B. 地域貢献活動」の受審について

背景・必要性

1

本学は第３期中期目標期間において、「地域貢献大学」としてのブランド確立に向け、教育研究活動の成果還元を通した社会貢献の取組み推進してきた。大学経営が厳しくなっていく状況にあっても、この歩みを確実なものとするためには、（独）大学改革支援・学位授与機構*による大学機関別選択評価の「B. 地域貢献活動」に関する評価（以下、「選択B」とする。）を実施し、さらなる個性の伸長及び特色の明確化を行うことや社会に分かりやすく示すことが必要。なお、選択Bは、大学機関別認証評価と併せた受審が可能であり、この場合、選択Bの評価手数料（約90万円）は不徴収となる。このことから、**本学では、認証評価の受審年度である令和５年度に選択Bを併せて受審することを提案する。**

※機構では、学校教育法第109条第２項に基づいて、大学機関別認証評価をも実施しており、本学は当機構の認証評価を受審している。

評価の概要

【大学機関別選択評価】

（独）大学改革支援・学位授与機構が平成24年度から実施する評価。大学の個性を伸長し、特色を明確にするため、「A. 研究活動」、「B. 地域貢献活動」及び「C. 教育の国際化」の側面から、大学の活動を評価。これまで延べ約40の国公私大学が受審。

【 B. 地域貢献活動の評価】

地域貢献活動（正規課程の学生以外への教育サービス・学習機会の 提供や、産業界との協力による地域産業の振興への寄与、国・地方公共団体・民間団体との連携による地域社会づくりへの参画等）に関わる目的の達成状況について、目的・計画の 策定と公表・周知、実際の活動内容や方法の適切性、活動の成果、改善のためのシステム 等の観点から評価。

【評価結果】

1. 目的の達成状況を中心に４段階で判断

- 極めて良好である （S）
- 良好である （A）
- おおむね良好である （B）
- 不十分である （C）

選択Bの評価結果％（大学数）
S：23%（5、うち国立2*）
A：73%（16、うち国立6）
B：5％（1）、C：0%（0）
*佐賀大（H27）秋田大（H25）

2. 「優れた点」「改善を要する点」の掲載

観点の分析の中から目的を踏まえて、個性の伸長、取組、成果、目的達成の観点から達成の状況等の特に重要な点を抽出

結果の評価への活用

第４期中期目標期間の法人評価等の運営費交付金の配分に活用される評価や、公募事業の計画書等にて評価結果を引用し、優れていることを客観的に示すことで、各種資金の獲得を目指す。

評価の項目・観点

【評価項目】大学の目的に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、成果を上げていること。

- 以下①～④の各観点は、ＰＤＣＡサイクルに対応するよう設定。 各観点の分析において、それぞれの活動についての流れが明確に分かるよう、記載する。
- 文章や根拠・データについては、４年目終了時評価の達成状況報告書（中期計画の評価書）や現況調査表（学部・研究科の評価書）に用いたものを活用し、**評価に係る負担を最小限**とする。

観点	内容	根拠となる資料・データ例
①	大学の地域貢献活動の目的に照らして、目的を達成するためにふさわしい計 画や具体的方針が定められているか。また、これらの目的と計画が適切に公表・ 周知されているか。	・地域貢献活動に関する目的や基本方針等を示す資料 ・地域貢献活動に関する目的を達成するための計画や具体的方針が定められている資料等の該当箇所 ・地域貢献活動に関する目的及びその目的を達成するための計画や具体的方針が公開されている刊行物、ウ ェブサイト等の該当箇所 ・目的と計画の周知状況が確認できる資料
②	計画に基づいた活動が適切に実施されているか。	・活動を実施する組織が確認できる資料（組織の役割、構成、実施組織の人的規模やバランス、組織間の連 携、意思決定プロセス、責任の所在等） ・各活動の実施状況が確認できる資料（公開講座等の開催回数・参加者数、図書館の利用者数、企業との共同により開発された製品数、参画した審議会数・委員数等、実際の活動内容・方法を記した資料等）（過去 5 年分程度）〔提出必須〕
③	活動の実績及び活動への参加者等の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。	・各活動の実施状況のうち、活動の成果が確認できる資料（観点②における根拠資料・データ等の うち、成果が確認できるものを抽出） ・参加者からの反響や新聞等のメディアでの紹介、政策形成・実施への寄与等が確認できる資料 ・参加者等へのアンケート結果等、満足度が確認できる資料 ・参加者等のニーズの具体的事例等
④	改善のための取組が行われているか。	・地域貢献活動の状況を検証する組織、検証の方法が確認できる資料 ・外部者（当該大学の教職員以外の者）による検証を行っている場合は、その実施状況（実施組織、実施方法）が確認できる資料 ・自己点検・評価書、外部評価書等の該当箇所 ・地域貢献活動の状況を検証し、問題点等の改善に結び付けた具体的事例等

評価の体制（案）

地域連携推進機構・研究推進機構等の教職員及び大学評価IRマネジメントセンターの教職員等を構成員とした評価WGを設置し、評価作業にあたる。

評価のスケジュール（案）

	本学の評価WG	（独）大学改革支援・学位授与機構
令和 ３年度	（５月～６月）評価WGの設置 （６月～７月）説明会や研修会等を踏まえた自己評価書の骨子等の作成 （適宜、（独）大学改革支援・学位授与機構事前相談を実施）	（５月～６月） 選択評価等に関する説明会、自己評価担当者等に対する研修会の実施
令和 ４年度	（７月～）自己評価書の作成	（５月～６月） 選択評価等に関する説明会、自己評価担当者等に対する研修会の実施 （９月末） 翌年度の評価の申請受付締切
令和 ５年度	**（６月末） 自己評価書の提出締切**	（７月～） 書面調査及び訪問調査の実施 （１月末） 評価結果（案）の通知 （２月中旬） 意見の申立ての受付締切 （３月下旬） 評価結果の確定及び公表

令和３年度 地域協働プロジェクト推進事業審査要領（案）

地域協働プロジェクト推進事業（戦略的地域連携推進経費）の審査は、以下の要領で行う。

１．審査委員

審査委員は、地域共創企画室の教員５名で構成する（地域共創企画室長、専任教員２名、特命教員２名）。

審査委員長は地域共創企画室長を以て充てる。

２．審査方法

審査は、書面審査と合議審査の二段階とする。

書類審査は「募集要項」の「３．申請要件」に示した申請要件に照らし、「５．審査基準」に示した以下の観点および総合評価について採点する。採点者は４名とし、審査委員長はこれに加わらない。

①事業の適切性（各項目１０点･･･３０点）

○地域の課題を的確に把握し解決を図る取り組みであるか。

○地域の産学官等が保有する多様な資源を有効に活用した取組であるか。

○部局等の強み・特色を活かした事業で、部局等が組織的に推進する取組であるか。

②事業の戦略性（各項目１０点･･･２０点）

○取組が「地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（最終答申）」の方向性と整合性を持っているか。

○将来的に持続可能な取組体制（自己資金による実施や自治体・企業等の外部資金による実施）の構築を目指す取組であるか。

③事業の有効性（各項目１０点･･･３０点）

○期間内に一定の成果を創出し地域社会等から評価が得られる事業であるか。

○地域社会への貢献が期待でき、かつ、インパクトの強い事業であるか。

○所要額が、妥当であるか。

④総合評価（その他の魅力や意義等･･･２０点）

書類審査の結果をもとに、審査委員による合議審査を行う。合議審査の進行は審査委員長がこれを務める。合議審査では書類審査の評点を基に、第３期中期目標期間における戦略的かつ重点的取組の観点から総合的に判断し、採択事業及び採択金額を合議により決定する。

３．その他

その他、審査に関する必要事項等については、審査委員による協議で決定する。

令和３年度 戦略的地域連携推進経費 地域協働プロジェクト推進事業 採点表（案）

No.	部局名	申請 カテゴリー	事業実施 責任者	事業名	所要額 （千円）	（各項目の配点は１０点ずつ）								配点は ２０点	合計	コメント
						①適切性			②戦略性		③有効性			総合評価		
						地域課題の 把握・解決	産学官の 資源活用	強み・特色 組織的推進	答申との 整合性	持続可能な 体制構築	成果創出・ 評価	期待度・ インパクト	所要額の 妥当性			
1															0	
2															0	
3															0	
4															0	
5															0	
6															0	
7															0	
8															0	
9															0	
10															0	

令和３年度戦略的地域連携推進経費
地域協働プロジェクト推進事業募集要項

１．事業趣旨

地域の産学官等が保有する多様な資源を活用し、地域課題の解決や地域・産業振興に資する持続可能な地域協働循環型モデル創出に繋がるプロジェクトを支援する。

地域課題の解決に向けた具体的事業を行う１プロジェクト当り１００万円／年を上限とする１年度間の事業支援とし、以下の４つのカテゴリーにおいて、地域等と協働して行うプロジェクトを重点的に支援する。

※予算総額は３７０万円

カテゴリーⅠ　医療・健康長寿

①医療機関や医療技術、医療人材の高度化に向けた取組
②健康の増進や生活習慣の改善に関する理解を促進する取組

カテゴリーⅡ　地域振興

①農業の振興に向けた取組
②観光産業の振興に向けた取組
③IT・エネルギー・工業技術の振興に向けた取組
④地域文化の振興に向けた取組

カテゴリーⅢ　次世代育成

①島嶼型教育基盤の構築に向けた取組
②次世代育成の基盤整備に向けた取組
③事業創出人材の育成に向けた取組
④地域活性化人材の育成に向けた取組

カテゴリーⅣ　島嶼型先進研究

①島嶼・海洋・亜熱帯・健康長寿等の特色ある研究成果に基づく地域活性化の取組
②国際的な学術交流や学術情報・資源の公開・発信を通じた地域活性化の取組

２．申請対象者

本学の専任教員が事業実施責任者となり、学内の関連部局等と相談の上事業を企画・立案し、事業実施責任者が所属する部局等の長が統括責任者となり、総括責任者が申請する。

なお部局等とは運営推進組織、教育研究等組織並びに事務組織を指すが、地域連携推進機構長が統括責任者となるプロジェクトの申請は受け付けない。

３．申請要件

申請に際しては、以下の要件をすべて満たすことが望ましい。

○地域の産学官等が保有する人材や資金、課題や情報といった多様な地域資源を活用したプロジェクトであること。

○期間内に課題解決に関する一定の成果を創出し地域社会等から評価が得られる事業であること。

○申請段階で将来的な事業の自立（自己資金による実施や自治体・企業等の外部資金による実施）に関するビジョンを持ったプロジェクトであること。

○学内外で実施されている関連事業と連携協力して成果を報告・評価しながら事業の整理・統合・再編などを行うとともに新たな事業提案をしていくためのプラットフォームを構築し、地域の関係機関や関係者と持続可能な協働体制を形成するプロジェクトであること。

なお、申請段階においてこれらの要件をすべて満たすことが望ましいが、地域資源の活用やプラットフォームの構築等に関し具体的な手法に欠く場合は地域連携推進機構においてその支援をする。

設備等の整備を主な目的とするプロジェクトや経常的業務の補完を目的とするプロジェクトは申請の対象外とする。

４．申請書提出先

申請する部局等は、申請書に必要事項を記載し，当該部局等の長が全ての申請をとりまとめの上、令和３年５月２１日（金）１７：００までに総合企画戦略部地域連携推進課企画係宛てにメールで提出すること。

【メールアドレス：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp】

５．審査基準

①事業の適切性

○地域の課題を的確に把握し解決を図る取り組みであること。

○地域の産学官等が保有する多様な資源を有効に活用した取組であること。

○部局等の強み・特色を活かした事業で、部局等が組織的に推進する取組であること。

②事業の戦略性

○取組が「地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（最終答申）」（平成３０年）の方向性と整合性を持っていること。

（答申掲載 URL：https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/wp/imgs/ddf2159fb0229cc89b0bc7088065d2b9.pdf）

○将来的に持続可能な取組体制（自己資金による実施や自治体・企業等の外部資金による実施）の構築を目指す取組であること。

③事業の有効性

○期間内に一定の成果を創出し地域社会等から評価が得られる事業であること。

○地域社会への貢献が期待でき、かつ、インパクトの強い事業であること。

○所要額が、妥当であること。

６．スケジュール（予定）

・４月２８日（水）　　募集開始

・５月２１日（金）１７：００　申請締切

・５月２４日（月）～　　審査

・６月２３日（水）　　役員会（採択可否の決定）

※役員会後に所要の手続きを経て事業の開始

７．採択の決定

審査基準に基づき地域連携推進機構が採択及び配分額の案を作成し、役員会において決定する。

なお、採択された事業については、後日、当該事業が目指す SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））の確認がある。

８．実施報告

各プロジェクトの実施に当たっては、今年度 11 月に実施予定の「開学 70 周年記念事業地域連携企画展」において取組の進捗状況を報告するほか、本年度事業終了後は、別に定める期日までに実施報告書を提出すること。

なお、中間報告または実施報告書の提出後、実施状況を把握するため必要に応じてヒアリングや報告会を行う場合がある。

９．その他

（１）申請に際しては「地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（最終答申）」（平成３０年）を参照し、事業の趣旨について十分に理解をすること。

（２）同一部局等から複数の申請をすることができる。

（３）本学の予算状況によっては、経費配分予定額が変更となることがある。

「地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（最終答申）」掲載 URL：
https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/wp/imgs/ddf2159fb0229cc89b0bc7088065d2b9.pdf

報告１

宜野湾市連携事業案一覧

令和３年４月２７日
琉球大学施設運営部作成

病院との関連	大テーマ	大きな流れ	SDG s	提案者	事業名（小テーマ名）	可不可	内容など	要望課	関連課（宜野湾市）	本学担当	担当教員など
強	スマートシティ構想	【ハード面の整備】 遊歩道の設計（主） 関連施設の誘致。地主の同意（5, 6） 市民の大学施設利用(14) 市民の駐車場利用（4) 遊歩道の拡大。ツアー企画（１） ――――― 【サービス面の整備】 健康イベント、講演会（8,13) 重症化予防(11) 生活習慣改善指導(15) 生涯スポーツの推進(21) ――――― 【中長期のデータ追跡】 健康データの分析(10) 就学時健診（28）	１：貧困問題 ３：健康と福祉 １０：不平等をなくす（社会保障政策） １１：街づくり	**琉大**	**「健都」に学ぶ「ウォーカブルな街：スマートシティ」構想**		**西普天間住宅地区跡地をウォーカブルな街として整備して、ウェルネス関連施設を誘致し発展させていく**	**-**	**-**	**-**	
				宜野湾	健康×観光ツアーコースの開発	**経過確認or調整予定**	「ウォーカブルな街構想」のハード面が整った後に企画？	市民経済部_観光農水課	-	地域連携	地域連携推進機構_畑中特命准教授
				宜野湾	琉大駐車場の市民共同利用	**経過確認or調整予定**	病院利用者が減少する時間帯に宜野湾市民を低料金で駐車場利用をできるようにしてほしい	市民経済部_産業政策課	-	移転推進	
				宜野湾	拠点となる施設誘致に向けた連携	**経過確認or調整予定**	1ha保留地の取り扱い。沖縄健康医療拠点機能を活用した街づくり	市民経済部_産業政策課	-	移転推進	
				宜野湾	立地希望の関連事業者と地権者のつなぎ	**経過確認or調整予定**	モデル街区、企業誘致連携	市民経済部_産業政策課	都市計画課	移転推進	
				宜野湾	琉大、地権者、事業者等によるまちづくり協議会等の設立支援	**経過確認or調整予定**	エリアマネジメント（６より広域）	市民経済部_産業政策課	都市計画課	移転推進	
				宜野湾	既成市街地との連携による地域健康イベント等の開催支援	**経過確認or調整予定**	振興するようなイベントを想定	市民経済部_産業政策課	-	移転推進	
				宜野湾	健康課題の分析	**経過確認or調整予定**	健康ぎのわん２１関連。発症予防・重症化予防を目的とし、データを高度分析する	健康推進部_健康増進課	-	移転推進	
				宜野湾	重症化予防（透析患者の減少）の連携	**経過確認or調整予定**	琉大の医師が宜野湾市かかりつけ医と連携することで、人工透析移行を未然に防ぐ 健康保険の運営健全化に資する。	健康推進部_健康増進課	-	上原事務	
				宜野湾	健康教育に関する市民向け講演会の開催、講師派遣	**実現可能性あり**	琉大の医師に健康増進のための講演をしてほしい。市民向け健康づくり講座 スペースづくりも視野にいれて	健康推進部_健康増進課	-	移転推進	
				宜野湾	キャンパス内施設の市民活用	**経過確認or調整予定**	運動施設が不足している 付近のジムと連携して、体育館などでしか行えないトレーニングなどを実施	健康推進部_健康増進課	-	移転推進	
				宜野湾	生活習慣改善	**経過確認or調整予定**	長野県の減塩への取組など 国立循環器病センターの「かるしおプロジェクト」をモデルにする	健康推進部_介護長寿課	-	上原事務	
				宜野湾	健康アドバイスや生涯スポーツの推進	**詳細をお聞きしたいです。**	-	教育委員会_教育部文化課	-	移転推進	
				宜野湾	就学時健診の協力	**経過確認or調整予定**	就学時健診協力要員を派遣してほしい。「虫歯」「視力低下」が全国ワースト１。「肥満」もみられる。長期観察や研修医などの経験の機会になると思う	教育委員会_指導部学務課	-	上原事務	

宜野湾市連携事業案一覧

令和３年４月２７日
琉球大学施設運営部作成

病院との関連	大テーマ	大きな流れ	SDG s	提案者	事業名（小テーマ名）	**可不可**	内容など	要望課	関連課（宜野湾市）	**本学担当**	**担当教員など**
強	救急災害時を想定した連携	【ハード面の整備】 ドクターカー、ドクターピックアップ（17，18） 【ソフト面の整備】 実習受入(19) 【中長期的な計画】 防災計画の連携（20，30）	３．健康と福祉	宜野湾	ドクターカーの運用	**経過確認or調整予定**	ドクターカー：医療チームを運ぶ車両。医療機器を搭載し、医師・看護師が１名ずつ乗る	消防本部__警防課	-	上原事務	
				宜野湾	ドクターピックアップの運用	**経過確認or調整予定**	消防ヘリ、消防車などで、ドクターが現地に向かえるようにする	消防本部__警防課	-	上原事務	
				宜野湾	病院実習の受け入れ	**経過確認or調整予定**	MC（ﾒﾃﾞｨｶﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ：高度な救急医療）の向上などがねらい	消防本部__警防課	-	上原事務	
				宜野湾	災害医療における連携	**経過確認or調整予定**	30と重複？	消防本部__警防課	-	上原事務	
				宜野湾	防災計画の連携	**経過確認or調整予定**	市の防災会議委員に病院から就任してほしい 琉大病院と連携した防災訓練がしたい 災害時ボランティアの派遣 災害時の琉球大学設備利用（ヘリポート、緑地、備品）	総務部_市民防災室	-	上原事務	
中	高齢者の地域医療	具体化したらスマートシティに合流できるかもしれない 内容的にプロジェクト後半で課題整理をした方がよい	３：健康と福祉 １１：街づくり	宜野湾	在宅介護・医療連携（フレイル対策等）	**経過確認or調整予定**	フレイル（「虚弱状態」健康な状態と日常生活で介護が必要な状態の中間の状態） 市への聞き取り必要？副次的効果であって個別に特化した事業としては提案困難？	健康推進部_介護長寿課	-	上原事務	
				宜野湾	見守り自販機に関するデータ分析	**経過確認or調整予定**	見守り自販機（タグ保有者を検知する自販機）を活用した認知症患者などの行動分析 https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1232875.html	健康推進部_介護長寿課	-	上原事務	
				宜野湾	病院へのアクセス確保	**詳細をお聞きしたいです。**	将来的な課題。市レベルではなく県内全域としての取り組み？	健康推進部_介護長寿課	-	移転推進	
弱	大学との教育連携	ー	４：質の良い教育	宜野湾	はごろも教育ネットの強化	**可**	具体化が必要。資料からすると継続案に見える。医学部学生を新たに加える？ 既存事業に詳しい方から情報収集 既存の体制以上の要望があるのかどうか確認が必要(稲福)	教育委員会_指導部 はごろも学習センター	-	地域連携	教育学部
弱	地元産業	【具体的な対応】 ウニ海ブドウの養殖(3) ――――――――― 【発展的な対応】 六次産業についての検討(2)	８：働きがいと経済成長 ９：産業と技術革新	宜野湾	六次産業についての検討	**経過確認or調整予定**	-	市民経済部__観光農水課	-	地域連携	農学部 内藤教授
				宜野湾	養殖事業を通じたウニ・海ブドウなどの安定供給	**経過確認or調整予定**	新たな特産品を開発し、漁業経営の維持・向上を図る。すでに沖電開発が試行中	市民経済部__観光農水課	-	地域連携	理学部 竹村教授
弱	特別支援	背景として、医療の高度化による虚弱児の出生率が向上したことがあると言われている	４：質の良い教育	宜野湾	特別支援保育	**詳細をお聞きしたいです。**	琉球大学の専門者と連携し、より高度な特別支援保育を行えるようにする	福祉推進部子育て支援課	-	移転推進	
				宜野湾	知能検査協力	**経過確認or調整予定**	幼児児童生徒の心理検査を適切にフィードバックできるよう専門家のサポートがほしい	教育委員会_指導部 指導課	-	上原事務	

宜野湾市連携事業案一覧

令和３年４月２７日
琉球大学施設運営部作成

病院との関連	大テーマ	大きな流れ	SDG s	提案者	事業名（小テーマ名）	**可不可**	内容など	要望課	関連課（宜野湾市）	**本学担当**	**担当教員など**
弱	博物館関連	【イベント的な対応】 キャンパスや風樹館の活用 （23,24,25） ――――――――― 【学術・研究的な対応】 歴史道などの巡検（22） 市立博物館との学術交流（26）	４：質の良い教育 １１：まちづくり （遺産の保護） １５：陸の豊かさ	宜野湾	歴史道や周辺文化財の巡検	**経過確認or調整予定**	-	教育委員会_教育部 市立博物館	企画政策課	地域連携	風樹館_佐々木助教
				宜野湾	(初等教育)西普天間キャンパスや風樹館の活用	**経過確認or調整予定**	旧水田跡、歴史道、周辺文化財との活用	教育委員会_教育部 市立博物館	企画政策課	地域連携	風樹館_佐々木助教
				宜野湾	(観光ガイド)西普天間キャンパスや風樹館の活用	**経過確認or調整予定**	-	教育委員会_教育部 市立博物館	企画政策課	地域連携	風樹館_佐々木助教
				宜野湾	(デイサービス)西普天間キャンパスや風樹館の活用	**要経過確認**	-	教育委員会_教育部 市立博物館	企画政策課	地域連携	風樹館_佐々木助教
				宜野湾	市立博物館との学術交流	**経過確認or調整予定**	-	教育委員会_教育部 市立博物館	企画政策課	地域連携	風樹館_佐々木助教
強	将来構想	―	―	宜野湾	将来的なハード整備施策連携	**no.4と同様(今後調整)**	-	市民経済部_産業政策課	-	移転推進	
強	将来構想	―	―	宜野湾	コリドー地区の調査	**経過確認or調整予定**	https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kichi/1/1_1/6503.html 次に返還予定の土地利用について	基地政策部_まち未来課	-	移転推進	